

目次

発刊のことば

例言

執筆分担

第一編 政治

序章 近代・現代塩尻の概観

- 一 はじめに……………五
 - 二 四つの支配下から長野県の管轄下へ……………五
 - 三 町村制のもとにおける六か村……………六
 - 四 大正デモクラシーの時期から十五年戦争へ……………七
 - 五 戦後の民主化と町村の動き……………八
 - 六 塩尻市の成立と発展……………九
- ### 第一章 戊辰戦争から筑摩県政の展開へ
- 一 東山道軍の通過と塩尻……………二
 - 二 尾張藩取締役所と伊那県の設置……………三
 - 三 伊那県政の展開と村々の動き……………四
- ### 第二節 松本・高島・高遠藩政と廃藩置県
- 一 松本・高島・高遠藩の藩政改革と村民……………七
 - 二 廃藩置県と筑摩県の成立……………九

第二章 戸長役場の成立と自由民権運動

第一節 筑摩県政と長野県への合併……………二〇

一 筑摩県庁下問会議・県政と豪農層……………二〇

二 地租改正事業の進行と終了……………二三

三 筑摩県の廃止と塩尻……………二六

第二節 戸長役場の成立と連合戸長役場……………二六

一 戸籍区と大区小区制の実施……………二六

1 戸籍区(28) 2 大区小区制(30)……………三三

二 村の合併と分離……………三三

三 戸長役場と連合戸長役場……………三四

四 村会と連合村会……………三六

第三節 大区制から郡へ……………四一

一 大区会議と塩尻……………四一

二 東筑摩郡の成立と郡役所……………四三

第四節 自由民権運動の成立と展開……………四三

一 多かつた英匡社員と地域活動……………四三

二 長野県民会・郡連合村会・村政と自由民権家……………四五

第三章 町村制・郡制の発足と塩尻

第一節 町村制下の塩尻……………四七

一 村制施行と村政……………四七

1 町村合併と町村制による村政 (47)	2 村制の施行と村役場の発足 (48)	3 区会の設置 (53)	5
1 等級選挙制と村会議員	1 村会の成立と村会議員の特徴 (55)	2 村会の役割と村会議員選挙 (56)	5
三 村の行財政と村民負担	1 塩尻村の財政 (58)	2 洗馬村の財政 (59)	6
第二節 東筑摩郡の郡制発足と郡会	1 郡制施行と郡の行財政	1 東筑摩郡の郡制施行と村政 (60)	6
1 郡制施行と郡の行財政	1 郡会・郡参事会と郡会議員	1 郡会・郡会議員 (61)	6
2 郡参事会 (63)	2 郡参事会 (63)	2 郡参事会 (63)	6
第三節 長野県会・衆議院議員選挙と塩尻	1 長野県会議員の選挙	1 府県制の施行と分県移行運動 (64)	6
1 府県制の施行と分県移行運動 (64)	2 県会議員選挙と政党 (65)	3 県議選疑獄事件 (65)	6
2 県会議員選挙と村民	1 衆議院開設と村民の参政権 (66)	2 川上源一	6
2 川上源一	代議士の活動 (66)		6
第四章 日清・日露戦争下の塩尻と戦後経営	1 日清戦争と村政	1 日清戦争と村政	6
1 日清戦争と村政	2 日露戦争と村政	2 日露戦争と村政	6
2 日露戦争と村政	1 村会議員選挙と村会 (70)	2 洗馬村の財政と公金盗難事件 (70)	6
1 村会議員選挙と村会 (70)	3 片丘村紛議事件 (71)	3 片丘村紛議事件 (71)	6
2 洗馬村の財政と公金盗難事件 (70)	4 広丘村村長空席事件 (72)	4 広丘村村長空席事件 (72)	6
3 片丘村紛議事件 (71)	1 日露戦争と村政	1 兵士の動員 (74)	6
4 広丘村村長空席事件 (72)	2 日露戦争と村財政 (75)	2 日露戦争と村財政 (75)	6
1 日露戦争と村政	3 村政の成績 (77)	3 村政の成績 (77)	6
2 日露戦争と村財政 (75)	4 日露戦争後の村政	4 日露戦争後の村政	6
3 村政の成績 (77)	第二節 郡政・県政と塩尻	第二節 郡政・県政と塩尻	6
4 日露戦争後の村政	1 郡政・郡会議員選挙と政党活動	1 郡政・郡会議員選挙と政党活動	6
第二節 郡政・県政と塩尻	1 東筑摩郡政の展開 (79)	2 郡制改正と政党政治 (81)	6
1 郡政・郡会議員選挙と政党活動	2 郡制改正と政党政治 (81)	2 郡制改正と政党政治 (81)	6
1 東筑摩郡政の展開 (79)	2 郡制改正と政党政治 (81)	2 郡制改正と政党政治 (81)	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	1 府県制改正と県会の政党党派	1 府県制改正と県会の政党党派	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	1 府県制改正と県会の政党党派	1 府県制改正と県会の政党党派	6
1 府県制改正と県会の政党党派	1 府県制改正と県会の政党党派	1 府県制改正と県会の政党党派	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	2 明治四四年の県会議員選挙 (84)	2 明治四四年の県会議員選挙 (84)	6
1 府県制改正と県会の政党党派	3 鉄道誘致運動の展開	3 鉄道誘致運動の展開	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	第三節 普通選挙運動の開始	第三節 普通選挙運動の開始	6
1 府県制改正と県会の政党党派	1 衆議院議員選挙と塩尻	1 衆議院議員選挙と塩尻	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	1 選挙法の改正 (87)	2 広丘村の明治三五年八月の衆議院議員選挙 (87)	6
1 府県制改正と県会の政党党派	2 広丘村の明治三五年八月の衆議院議員選挙 (87)	3 洗馬村の明治三五年八月の衆議院議員選挙 (88)	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	3 洗馬村の明治三五年八月の衆議院議員選挙 (88)	1 普通選挙運動の成立と展開	6
1 府県制改正と県会の政党党派	1 普通選挙運動の成立と展開	1 成立の背景 (89)	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	2 普通選挙運動の展開 (89)	2 普通選挙運動の展開 (89)	6
1 府県制改正と県会の政党党派	3 社会主義運動の台頭	3 社会主義運動の台頭	6
2 郡制改正と政党政治 (81)	1 台頭の背景 (91)	2 赤羽巖穴の活動 (91)	6
1 府県制改正と県会の政党党派	2 赤羽巖穴の活動 (91)		6

第五章 大正デモクラシーと塩尻…………… 九

第一節 大正デモクラシーと各村の政治…………… 九

一 村政の多様化と村吏員…………… 九

- 1 塩尻村役場の新築 (93)…………… 九
- 2 塩尻村の行政体制 (96)…………… 九
- 3 村会 (99)…………… 九

二 村自治の拡大と村会…………… 一〇

- 1 片丘村の青年団と小学校統一問題 (100)…………… 二
- 2 等級選挙制の廃止と村会議員 (102)…………… 二
- 3 米騒動と村の対応…………… 三

三 米騒動と米の対策 (102)…………… 三

- 1 米騒動と米の対策 (102)…………… 三
- 2 洗馬村・筑摩地村の対応と米販売 (103)…………… 三

四 財政の膨張と財源…………… 一〇

- 1 歳入・歳出の科目と推移 (104)…………… 二
- 2 教育費増大にたいする一吏員の見解 (106)…………… 二

五 地方改良運動の展開と部落有林野の統一…………… 一〇

- 1 地方改良運動の展開 (106)…………… 二
- 2 部落有林野の統一 (108)…………… 二

第二節 郡制・郡役所の廃止と県政…………… 一三

一 郡制の展開と郡財政…………… 一三

- 1 東筑摩郡会・郡会議員と政党 (113)…………… 二
- 2 大正期の東筑摩郡の郡政と郡財政 (114)…………… 二

二 郡役所の廃止と塩尻…………… 一六

- 三 県政・県会と地域住民…………… 一七
- 1 民力誘養運動の展開 (117)…………… 二
- 2 郡制廃止と塩尻…………… 二七

(118) 第三節 大正デモクラシー運動と政党…………… 一九

第一節 大正デモクラシー運動と塩尻…………… 一九

一 第一次護憲運動と塩尻…………… 一九

- 二 保守政党再編成と選挙…………… 二〇
- 三 普通選挙運動の展開と塩尻…………… 二二
- 1 普通選挙運動の展開 (123)…………… 二二
- 2 第一回普通選挙 (124)…………… 二二

四 無産政党の動きと国家主義的運動…………… 二六

第六章 戦時体制下の塩尻…………… 二七

第一節 塩尻町の発足と昭和恐慌…………… 二七

一 塩尻町の町制施行と村の政治…………… 二七

- 1 塩尻町の誕生 (127)…………… 二七
- 2 昭和初期の村政 (131)…………… 二七
- 二 村会と議員の動き…………… 二八
- 三 恐慌・満州事変と町村政…………… 二八
- 1 県の対策 (135)…………… 二八
- 2 町村の対応 (136)…………… 二八

四 経済更生運動と農村負債整理…………… 二八

- 1 各村の経済更生計画 (138)…………… 二八
- 2 宗賀村床尾の農村経済更生計画 (139)…………… 二八
- 3 中流農家の経営状態と負債整理 (140)…………… 二八

第二節 十五年戦争と町村の戦時体制…………… 三三

- 一 日中戦争と国民精神総動員…………… 三三
- 1 各村の国民精神総動員運動と臨戦体制 (142)…………… 三三
- 2 常会・隣組 (143)…………… 三三
- 3 日中戦争下の町村政 (145)…………… 三三

二 太平洋戦争と町村政…………… 四七

- 二 太平洋戦争と町村政…………… 四七

- 1 県政の変化と地方事務所の設置 (147) 2 太平洋戦争下の町村行政 (148) 3 町村会と翼賛選挙 (151)

第三節 政党の行詰りと翼賛体制

- 一 政党の変化と県政・国政選挙……………二五

- 1 県下の政党の消長 (153) 2 県会議員選挙と塩尻 (154) 3 衆議院議員選挙と塩尻 (156)

- 二 翼賛体制の展開……………二六

- 1 翼賛体制 (158) 2 翼賛選挙 (159)

- 三 敗戦と塩尻の人々……………二六

第七章 戦後改革と塩尻

- 第一節 敗戦と町村政治の改革……………二七

- 一 戦後処理と町村行政……………二七

- 二 町村長の公選と役場職員……………二八

- 三 町村議会の民主化と権限の強化……………二八

- 四 町村財政の民主化……………二九

- 第二節 政党の復活と政治運動の展開……………二九

- 一 政党活動の開始と男女普通選挙法……………三〇

- 二 戦後諸改革と塩尻……………三〇

- 三 国政・県政の選挙と塩尻……………三一

第八章 塩尻市の誕生と発展

- 第一節 塩尻市制の実施と行財政の展開……………三一

- 一 町村合併と市制の実施……………三二

- 二 市役所の新築と行政機構……………三八

- 三 市議会と議員の動き……………三九

- 四 市政の展開と財政の動き……………三九

- 五 市民憲章の制定と姉妹都市提携……………四〇

- 六 労働者・市民の運動と政治……………四〇

- 第二節 広域行政と長期計画の策定……………四〇

- 一 広域行政と塩尻市……………四〇

- 二 新市建設計画と新産業都市の指定……………四一

- 三 新都市計画法と基本構想……………四一

- 第三節 国政・県政と市民……………四一

- 一 国政・県政と塩尻市民……………四二

- 二 果諸施設と塩尻……………四二

- 参考・引用文献……………四三

第二編 社会・生活

- 第一章 維新・文明開化期の塩尻……………四五

- 第一節 新しい身分制と村の人口……………四五

- 一 士農工商から士族・平民へ……………四五

- 二 明治初年の人口動態……………四六

- 三 徴兵令と西南戦争……………四六

- 第二節 生活の文明開化……………四六

- 一 村の文明開化と人びとの暮らし……………四七

一	生活の実態と太陽暦の導入	三三七
二	郵便制度のはじまり	三三九
第三節	宿駅の廃止と中牛馬会社	三三三
一	宿駅・助郷の廃止	三四三
二	中牛馬会社と運送・運輸業	三四四
第二章	村制度と地域社会の変貌	三四七
第一節	人口動態と民衆結社の成立	三四七
一	人口と職業	三四七
二	天皇巡幸と民衆の送迎	三四九
三	民衆結社の成立	三五二
第二節	道路の開削と河川	三五四
一	里道整備・七道開削と運送・運輸	三五四
二	中山道鉄道誘致運動と塩尻	三五八
三	河川と田用水・生活用水	三五八
第三節	村民生活と行政	三六一
一	塩尻警察分署と住民生活	三六一
二	疾病と衛生・医療	三六四
三	塩尻遊郭の成立	三六六
四	災害と防災	三六八
第三章	鉄道による社会変化と日清・日露戦争	三七二
第一節	社会の変化と篠ノ井線・中央線の開通	三七二
一	戸口の動きと職業別人口	三七二
二	鉄道駅の設置と住民の生活	三七四
三	道路網の変化と運輸	三七八
四	地主・小作の生活と村民の貧富	三八〇
第二節	村民生活と日清・日露戦争	三八五
一	村民生活と日清戦争	三八五
二	戦争への動員と松本五十連隊の設置	三八六
三	日露戦争と村民	三八八
四	伝染病の流行と医療	三八九
五	災害と消防組の設置	三九三
第三節	社会運動の開始と塩尻警察署	三九五
一	塩尻警察分署と村民生活	三九五
1	塩尻警察分署の沿革(295)	
2	日清戦争前後の おもな事件(295)	
二	社会運動と青年たちの動き	三九八
三	女性の生活と運動	四〇〇
四	郵便局の発達と通信	四〇三
第四章	大正デモクラシーと社会生活	四〇四
第一節	大正デモクラシーと地域社会	四〇四
一	人口動態と国勢調査	四〇四
二	塩尻駅周辺の発達	四〇七
三	村の生活と第一次世界大戦	四〇八
第二節	第一次世界大戦後の社会生活	四一〇
一	米騒動とシベリア出兵の影響	四一〇
二	火災と村統一の消防組	四一三

三 伝染病と医療・衛生……………	三三	二 言論活動と青年・婦人などの運動……………	二四八
四 塩尻遊郭と娼妓……………	三五	三 銃後奉公会・警防団・翼賛壮年団など戦争協力団体……………	二五五
第三節 鉄道輸送の増大と道路網整備……………	三七	第四節 疾病・災害の増大と戦時下の社会保障……………	二五〇
一 鉄道輸送の増大と村民……………	三七	一 塩尻町水道の設置と保健衛生……………	二五〇
二 道路交通と自動車の導入……………	三九	二 災害の増大と防災……………	二五六
三 郵便・電信と電話……………	三三	三 方面委員と社会保障……………	二五六
第四節 社会問題・社会運動と警察制度……………	三三	四 職業紹介と戦時動員……………	二六〇
一 社会問題の現われ……………	三三	第五節 戦争の拡大と社会生活……………	二六三
二 青年や婦人の運動……………	三四	一 日中戦争と動員……………	二六三
三 塩尻警察分署の廃止と村民……………	三六	二 塩尻警察署と戦時体制……………	二六四
(327)		三 戦時下の生活と常会・隣組……………	二六六
1 大正期の塩尻分署(326)		四 太平洋戦争と犠牲者の増大……………	二七〇
2 警廃事件と塩尻……………	三六	第六節 満蒙開拓と塩尻……………	二七三
第五章 昭和恐慌・十五年戦争と社会生活……………	三九	一 開拓団の送出と満蒙開拓青少年義勇軍……………	二七三
第一節 人口動態と不況下の社会生活……………	三九	二 桔梗ヶ原女子拓務訓練所と「大陸の花嫁」……………	二七五
一 塩尻町の人口と村の人口……………	三九	三 満州開拓団・義勇隊開拓団の生活と終わり……………	二七七
二 昭和恐慌と人びとの生活……………	三三	第六章 戦後改革と社会生活の革新……………	二八〇
三 満州事変の影響……………	三五	第一節 敗戦処理と社会生活……………	二八〇
第二節 交通運輸と報道の統制……………	三八	一 復員・引き揚げ者の生活と天皇巡幸……………	二八〇
一 鉄道運送の変化と運輸会社の統合……………	三八	二 増加した人びとの仕事……………	二八二
二 道路の整備と交通の変化……………	三九	三 食糧危機・生活困窮と民生行政……………	二八五
三 電話・郵便と貯蓄……………	四〇	第二節 生活の立て直しと社会運動の復活……………	二八七
第三節 社会運動のゆきづまりと戦争協力……………	四六	一 農地改革と農民生活……………	二八七
一 農民運動の展開……………	四六		

二 農村社会と農民運動、生活改善運動……………	三九〇	一 民生委員と生活保護(405)	
1 塩尻町農民会の結成(390)		2 農村の生活改善	
(390)		3 福祉施設(407)	
三 労働組合の結成と運動の展開……………	三九一	第七章 塩尻市の誕生と社会生活……………	四〇八
第三節 交通運輸の再建と通信機関の発達……………	三九三	第一節 人口の増大と都市化・過疎……………	四〇八
一 鉄道輸送の増大とディーゼル化……………	三九五	一 塩尻市の誕生と人口膨張……………	四〇八
二 交通網の整備……………	三九五	二 市街地・団地の拡大……………	四二一
三 郵便・電話・ラジオと村内放送……………	三九七	1 公営住宅の建設と新しい行政区の誕生(411)	2
1 郵便・電話・ラジオ(397)		2 分譲住宅団地の造成(411)	3
2 村内放送(398)		3 市街化区域の設定	
第四節 災害・防災活動と警察行政……………	三九八	4 土地区画整理事業の展開	
一 災害の増大と防災活動……………	三九九	(413)	
1 風水害(399)		三 市の公共建物と都市再開発……………	四四〇
2 凶作(399)		1 市民会館(414)	
3 火災		2 消防庁舎と勤労者福祉セン	
4 塩尻市域の消防力(400)		ター(414)	3
二 塩尻町警察署の設立と廃止……………	四〇〇	3 市立体育館(415)	4
三 犯罪と防犯組織の成立……………	四〇一	5 中心市街地活性化計画とコミュ	
第五節 生活の向上と医療・福祉……………	四〇二	ニティ・マート事業(416)	
一 市民生活の向上と行政……………	四〇三	四 人口の減少地区と高齢化……………	四七
1 上水道(402)		第二節 生活環境の変化と市民生活……………	四〇三
2 ゴミ処理(403)		一 生活条件の整備と生活の変化……………	四〇三
3 公衆		1 上水道(420)	2
浴場(403)		2 下水道(420)	3
二 疾病と保健行政……………	四〇三	3 ゴミ・	5
1 伝染病(403)		し尿処理場(421)	4
2 国民健康保険(404)		4 火葬場と墓地(423)	
3		新生活(生活改善)運動(423)	
便所の改良(405)		二 情報化時代の市民生活……………	四〇四
4 医療施設と医療関係従事者		1 有線放送電話(424)	2
(405)		2 郵便・電話(426)	
三 社会福祉政策……………	四〇五	3 地域新聞と有線テレビ(428)	

三 市民の病氣と医療……………	四二九
1 法定伝染病(429)	
2 成人病など(429)	
3 医療施設と医療従事者(430)	
4 塩尻市の保健行政(430)	
第三節 自動車交通の激増と鉄道の電化……………	四三三
一 道路交通と市民生活……………	四三三
二 鉄道の改良と塩尻駅移転……………	四三四
三 長野自動車道・松本空港と塩尻……………	四三六
第四節 公害・災害と警察行政……………	四四〇
一 公害問題……………	四四〇
1 昭和電工の粉塵問題(440)	
2 市の公害対策と市民運動(442)	
二 災害と防災活動……………	四四三
1 火災(443)	
2 風水害(444)	
3 防災体制の整備・拡充(445)	
三 犯罪・少年非行と警察行政……………	四四六
1 犯罪(446)	
2 少年非行(447)	
3 警察行政(448)	
第五節 高齢化社会と社会集団……………	四四九
一 福祉対策と老人問題……………	四四九
1 塩尻市の福祉行政機関と社会福祉センター(449)	
2 障害者福祉(450)	
3 老人福祉(450)	
4 児童福祉(452)	
二 老人クラブなど社会団体の活動……………	四五三
1 老人クラブ(452)	
2 その他の団体(454)	
3 部落解放運動と労働運動……………	四五五
4 部落解放運動と同和行政(455)	
5 塩尻市発足の労働組合運動(456)	
6 参考・引用文献……………	四五九
第二編 産業経済	
第一章 総説……………	四五五
第一節 産業別人口からみた産業構造……………	四五五
第二節 地区別産業経済……………	四六七
第三節 地区別産業構造……………	四七一
一 塩尻地区……………	四七一
1 大門地区(471)	
2 塩尻東地区(472)	
二 片丘地区……………	四七三
三 広丘地区……………	四七三
四 洗馬地区……………	四七四
五 宗賀地区……………	四七四
六 北小野地区……………	四七五
第二章 農業……………	四七五
第一節 概説……………	四七五
一 明治初期の農業構造……………	四七七
(1)塩尻村……………	四七七
(2)片丘村……………	四七七
(3)広丘村……………	四七七
(4)洗馬村……………	四七七

	(5) 宗賀村	(6) 筑摩地村	
	二 農業経済の発展……………		四六
	1 塩尻町 (478)	2 片丘村 (479)	
	4 筑摩地村 (481)	3 宗賀村	
	三 戦中・戦後の農業……………		四三
	1 戦時中の農業 (483)	2 戦後の改革と農業	
	(484)		
	第二節 米・麦・雑穀……………		四六
	一 米……………		四六
	1 米作の立地 (486)	2 作付面積・収穫量の推移	
	(488)	3 米作と農業経済 (488)	
		4 米作技術の発展 (489)	
	(1) 明治期	ア品種	イ農機具
	ウ肥料	エ病虫害の防除	オ作業方法
	(2) 大正期		
	ア品種	イ農機具	
	ウ肥料	エ病虫害の防除	オ作業方法
	(3) 昭和前期・戦時統制期	ア品種	イ農機具
	ウ肥料	エ病虫害の防除	オ作業方法
	(4) 戦後		
	ア品種	イ農機具	
	ウ肥料	エ病虫害の防除	オ作業方法
	二 麦……………		五〇
	ア品種	イ農機具	
	ウ肥料	エ病虫害の防除	オ生産
	三 雑穀……………		五三
	(1) 生産の推移	(2) 栽培方法	
	第三節 果樹・野菜・特用作物……………		五六
	一 果樹……………		五六
	1 作付面積・収量の推移 (507)	2 ぶどう (508)	
	3 りんご (511)	4 なし (512)	
	5 その他の果樹 (513)	6 病虫害の防除 (513)	
	二 野菜……………		五三
	三 特用作物……………		五七
	(1) たばこ	(2) かしくるみ	(3) その他の特用作物
	第四節 養蚕・蚕種製造・栽桑・畜産……………		五九
	一 養蚕……………		五九
	1 明治期 (519)	2 大正期 (520)	
	3 昭和前期 (523)	4 昭和後期 (525)	
	二 蚕種製造……………		五六
	1 明治期 (526)	2 大正期 (528)	
	3 昭和期 (529)		
	三 栽桑……………		五〇
	1 明治期 (530)	2 大正期 (532)	
	3 昭和期 (533)		
	四 畜産……………		五四
	1 馬 (534)	2 牛 (534)	
	3 その他 (535)		
	第五節 開拓……………		五七
	一 戦前の開拓……………		五七
	1 桔梗ヶ原の開拓 (537)	2 東山の開拓 (539)	
	二 戦後の開拓……………		五四
	1 各村の開拓状況 (541)		
	(1) 片丘村	(2) 筑摩地村	(3) 広丘村
	(4) 洗馬村		
	2 市域開拓概況 (544)		

第六節 水利と土地改良事業

一 水 利

五七

- 1 河川(549) (1)奈良井川水系 (2)小曾部川水系
- (3)田川水系 (4)小野川水系 2 堰(550) 3 農業用溜池(550) (1)溜池の分布 (2)主な溜池
- (3)塩嶺トンネル掘削と北小野地区溜池 4 水利権(554) (1)堰の管理運営 (2)溜池の管理運営 5 中信平農業水利事業(555)

二 土地改良事業

五八

- 1 高出地区耕地整理事業(556) 2 開田事業(556) 3 広丘土地改良事業(556) 4 芦ノ田地区土地改良事業(557) 5 上田土地改良事業(557) 6 勝弦土地改良事業(557) 7 矢崎土地改良事業(557) 8 上の原土地改良事業(558)

三 農業構造改善事業

五九

- 1 犬原構造改善事業(559) 2 内田原構造改善事業(559) 3 岩垂原農業構造改善圃場整備(灌水)事業(559) 4 岩垂原農業構造改善事業(560) 5 田川地区圃場整備事業(560) 6 奈良井川地区圃場整備事業(560)

四 新農業構造改善事業

六〇

- 1 片丘地区新農業構造改善事業(561) 2 小曾部地区再編農業構造改善事業(561) 3 宗賀地区新農業構造改善事業(562)

五 農村基盤総合整備事業

六一

第七節 農業協同組合

六一

1 北小野地区農村基盤総合事業(562)

一 近代の農業団体

六二

- 1 農会(563) 2 産業組合(563) (1)設立期(2)充実発展期 3 農業会(566)

二 農業協同組合

六三

- 1 設立状況(567) 2 合併前の経営概況(568) (1)組合員数と戸数 (2)損益計算書の状況 (3)信用事業 (4)販売事業 (5)購買事業 (6)その他 3 農協の合併(571) (1)第一次合併問題 (2)五三年の合併 (3)その後の合併問題 (4)特殊事業農協の解散と合併 4 合併後の経営概況(574) (1)組合員数と戸数 (2)損益計算書の状況 (3)信用事業 (4)販売事業 (5)購買事業 5 各農協の主な歩み(576) (1)塩尻農協 (2)片丘農協 (3)広丘農協 (4)宗賀農協 (5)北小野農協 (6)塩尻市農協 (7)洗馬農協 (8)塩尻市農事放送農協 6 農協各種連合会(581)

第三章 林 業

六三

第一節 概 説

六四

第二節 戦前の林業

六五

一 明治期

六六

- 1 森林に関する政府の本格的振興政策の推進(583) 2 官有林から民有林への移行(587) 3 公有林野の荒廃とその復旧(587) 4 植林事業の活発化

(588) 5 部落有林から村有林への勸奨 (588)

6 明治末期の林業状況 (589)

二 大正期 五七

1 各村の林野状況 (591) 2 各村の林野経営

(592) 三 昭和期—太平洋戦争の終戦まで 六〇

第三節 戦後の林業 六三

一 終戦直後から経済安定期—昭和三四年市制施行まで 六三

二 塩尻市制施行以降の林業 六五

(1) 森林資源 (2) 樹種別面積 (3) 保有山林面積規模

別林家数 (4) 治山事業 (5) 林道 (6) 森林関係の

団体の現状 ア森林組合 イ生産森林組合 ウ協業

組織体 エ林業研究グループ

第四章 工業 六九

第一節 概説 六九

一 工業の塩尻市産業上の地位 六九

二 工業の発展 六九

(1) 高度加工型製造業に発展 (2) 電気機械関連業種が

中心 (3) 高い地元就職率 (4) ハイテク工業団地と

して発展

三 最近の業種別工業の趨勢 六三

(1) 事業所数 (2) 従業員数 (3) 製造品の出荷額

第二節 繊維工業 六五

一 明治期 六五

1 明治初期 (615) (1) 塩尻村 (2) 片丘村 (3) 広

丘村 (4) 洗馬村 (5) 宗賀村 (6) 筑摩地村 2

座繰製糸 (617) 3 器械製糸 (619) 4 座繰製

糸から器械製糸への移行 (621) 5 製糸工場構造の

推移 (622)

二 大正期 六三

1 製糸業の発展 (622) 2 製糸経営の構造 (625)

(1) 不安定な製糸経営 (2) 一日当り就業時間と女工員の

就業年齢の問題

三 昭和期 六六

1 製糸業の衰退 (628) 2 製糸経営の構造 (630)

四 組合製糸 六三

1 共栄社 (632) (1) 神戸八郎 (2) 共栄社の沿革と

経営内容 (3) 共栄社塩尻工場の概況 2 中信社

(635)

五 その他の繊維工業 六六

(1) 足袋および足袋裏 (2) 真綿 (3) その他

第三節 食料品工業 六七

一 飲料製造業 六七

1 清酒醸造業 (637) 2 ワイン醸造 (638) (1)

大正期 (2) 昭和期 3 その他の飲料製造業 (641)

二 調味料その他の製造業 六三

第四節 製材・木製品工業 六三

1 明治期 (644) 2 大正・昭和戦前期 (645) (1)

3 昭和戦後期 (646)

第五節 機械・金属工業

一 概観

二 明治・大正期

1 明治期 (649) 2 大正期 (650)

三 昭和・平成期

1 一〇・二〇年代創業 (651) 2 三〇年代創業 (653)

3 四〇年代創業 (655) 4 五〇年代創業 (658)

5 六〇・平成年代創業 (660)

第六節 化学工業

一 明治期

二 大正・昭和期

1 昭和電工㈱塩尻工場 (662)

2 その他 (664)

一 石 灰

1 明治期 (665) 2 大正期 (666)

平成期 (668) 3 昭和

二 瓦

三 陶磁器

(1) 信斎焼 (2) 入道焼 (3) 片丘村の焼き物 (4) 現在

四 その他

(1) 砥石 (2) 精米業

第八節 工業団地の造成

一 新産業都市の建設

二 工場団地の造成

(1) 角前工業団地 (2) 塩尻インター林間工業団地

(3) 塩尻アルプス工業団地 (4) 塩尻ネットワークリ
サーチャパーク構想

第九節 電力事情

一 電力事情の推移

二 塩尻市内の電力所など

(1) 東京電力㈱塩尻閉閉所・送電所 (2) 中部電力㈱中
信変電所・塩尻電力所 (3) 中部電力㈱信濃変電所

第五章 商業・金融業

第一節 概説

第二節 鉄道開通前の商業と金融業

一 明治前期の塩尻の商業

二 明治前期の金融業

第三節 鉄道開通後の商業と金融業

一 鉄道開通後の商業

二 鉄道開通後の金融業

第四節 昭和戦前・戦中期の商業と金融業

一 昭和戦前・戦中期の塩尻の商業

二 昭和戦前・戦中期の塩尻の金融業

第五節 太平洋戦争後の商業と金融業

一 塩尻の商業と金融業の概要

二 商工会議所の設立と活動	六九七	二 商工会議所の設立と活動	六九七
第六節 塩尻市の商業と金融業	六九八	二 塩尻市の商業の展開	六九八
一 塩尻市の商業の展開	六九八	二 塩尻市商業の現況	七〇〇
二 塩尻市商業の現況	七〇〇	参考・引用文献	七〇三
参考・引用文献	七〇三		
第四編 観光			
第一章 総説	七二三		
第一節 観光の意義と塩尻市観光の特徴	七二三		
第二節 塩尻市観光の推移	七二五		
第二章 観光資源の状況	七二八		
第一節 塩尻地区	七二八		
一 八ヶ岳中信高原国定公園	七二八		
塩尻峠 御野立記念碑 浅間社	七二八		
二 中山道に沿って	七三〇		
旧塩尻峠茶屋本陣 親子地藏付近 一里塚周辺 犬飼の清水 首塚・胴塚 永福寺 小坂田地周辺 塩尻宿 小野家住宅 阿禮神社 堀内家住宅 大門神社 市役所・塩尻駅周辺	七三〇		
三 田川に沿って	七三三		
みどり湖周辺 強清水 常光寺 三嶽の森と姥ヶ池 西福寺	七三三		
第二節 片丘地区	七三四		
一 高ボッチ高原・鉢伏山とその周辺	七三四		
高ボッチ高原 鉢伏山	七三四		
二 南北の街道に沿って	七三六		
中挟遺跡と玉類 カタオカサクラの栽培地 松林寺 南熊井城跡と犬ッ原 入道焼窯跡 菖蒲沢の瓦塔出土地と林間工業団地 北熊井城 北熊井諏訪社 常光寺 小松家住宅 島崎家住宅 内田原及び小丸山遺跡 大宮八幡社 無量寺 二十一世紀の森 保養センター かのおか 崖の湯 牛伏寺 馬場屋敷	七三六		
第三節 広丘地区	七三九		
一 北国西街道に沿って	七三九		
郷原宿 区画割 深井戸 歌碑公園 えびの子水苑 建部社 長者原公園	七三九		
二 田川に沿って	七四三		
高出和手の大コブシ	七四三		
第四節 洗馬地区	七四三		
一 古い文化の残る本洗馬	七四三		
長興寺 東漸寺 信齋焼 釜井庵 原家文書 槻井泉神社	七四三		
二 高原野菜の里、岩垂	七四四		
真正寺 高札場	七四四		
三 自然と民俗の里、小曾部	七四五		
沓沢湖 興龍寺 堂平公園 飯綱稲荷神社樹叢 道祖神	七四五		

第五節 宗賀地区……………七六六

一 古代のロマンの里、平出……………七六六

平出遺跡 平出遺跡考古博物館 歴史民俗資料館 歴史公園

史公園 平出の泉 床尾神社のアサゲ大木群

二 中山道に沿って……………七六六

一里塚 言成地蔵 滝社 本山宿 池生神社と社叢

奈良井川の清流 マルバノキ自生地

三 ぶどうとワインの里、桔梗ヶ原……………七六六

桔梗ヶ原

第六節 北小野地区……………七六六

一 塩嶺王城県立公園とその周辺……………七六六

塩嶺王城県立公園 塩嶺高原(勝弦) 三郡の辻・小野峠

しだれ栗森林公園 相吉溜池周辺とシダレグ

自生地

二 伊那街道に沿って……………七六六

1 善知鳥峠と旧道沿い(742) 善知鳥峠 注連掛け

原と神明山 十王堂 2 小野・矢彦神社とその周辺

(743) 両神社の由緒と社叢 小野神社の社殿と宝物

小野神社の神祭事 矢彦神社 上田城跡と石仏

伊那街道の小野宿付近(744) 小野宿 祭林寺

第七節 観光イベント……………七六六

一 新緑のイベント……………七六六

みどり湖まつり 高ホッチ高原つつじまつり

二 真夏のイベント……………七六六

高ホッチ高原観光草競馬大会 塩尻玄蕃まつり 小坂

田公園納涼花火大会

三 紅葉のイベント……………七六七

ぶどうまつり 全国短歌フォーラムin塩尻 ワインと

サフォークまつり

四 広域のイベント……………七六七

日本アルプスサラダ街道

第三章 塩尻市の観光事情……………七六九

第一節 観光の内容……………七六九

(1)日本アルプスサラダ街道 (2)散歩道 (3)筑摩三

十三か所観音霊場めぐり (4)おまつり (5)自然や

果実を楽しむまつり (6)行事としてのおまつり

第二節 観光の施策……………七五三

一 観光施設……………七五三

(1)宿泊施設 (2)公園 (3)史跡・博物館

二 観光の将来……………七五三

参考・引用および参考文献……………七五三

第五編 教育……………七五三

第一章 小学校教育……………七六一

第一節 学制頒布前の塩尻の教育……………七六一

一 維新期における私塾・寺子屋……………七六一

	一一 塩尻における郷学校……………	七六
	1 塩尻の郷学校簡践社 (762)	
	2 小野村の時習館 (764)	
	3 塩尻における小校設立の動き (764)	
	4 第六番小校 (765)	
	5 郷学校教師河野通萬 (768)	
	第二節 塩尻における近代教育の始まり……………	七九
	一 村々の学校創始……………	七〇
	1 学区の画定と学区取締・学校世話役 (770)	2
	創始期の村々の学校 (772)	3 学資金 (772)
	一一 創始期の教師と教育……………	七五
	1 創始期の教師 (775)	2 創始期の教育とその風景 (776)
	三 就学の実態……………	七七
	1 創始期の就学・不就学の状況 (777)	2 合果後の就学状況と南第五大区の就学勸奨 (778)
	四 教育令期の教育の混乱……………	七九
	1 出席率の低下と不就学理由 (779)	2 教育の実情ある学務委員の建言 (780)
	五 学校の統廃合と学制期の新築校舎……………	七八
	1 学校の統廃合 (782)	2 学制期の新築校舎 (782)
	第三節 整備期の塩尻の教育……………	七六
	一 市制・町村制の施行と尋常小学校の発足……………	七六
	1 尋常小学校発足と多様化する教育活動 (788)	2
	教育勸語の下賜と学校 (789)	
	一一 塩尻における郡立高等小学校……………	七〇
	1 郡立東筑摩高等小学校塩尻分教場 (790)	2 郡立東筑摩高等小学校片丘分教場 (791)
	三 尋常高等小学校の成立と教育の動き……………	七三
	1 村々の尋常高等小学校の成立 (792)	2 日清・日露戦争と教育の動き (794)
	3 女子教育の奨励と子守教育 (795)	4 学校林の創設 (796)
	第四節 戦時体制下の塩尻の教育……………	七六
	一 新しい教育思潮と塩尻の教師……………	七六
	1 東西南北会と塩尻の教師 (798)	2 白樺派の教師と雑誌「地上」の創刊 (799)
	一一 農村不況と教育……………	七九
	1 予算の削減と教員の待遇 (801)	2 不況と学童 (801)
	三 戦時体制下の教育……………	八二
	1 戦時体制への移行 (801)	2 国民学校の発足 (802)
	3 決戦下の教育 (803)	4 満蒙開拓青少年義勇軍の送出 (803)
	5 学童集団疎開の受け入れ (804)	
	第五節 戦後の教育……………	八六
	一 占領管理下の国民学校……………	八六
	1 敗戦直後の混迷 (806)	2 戦時体制色の一掃 (806)

二 新学制と塩尻の教育……………	八〇七
1 新しい小学校の発足(807)	2 学校保健と味噌
3 P T Aの発足(809)	汁給食(808)
三 現在の塩尻の小学校……………	八〇〇
1 市制実施と塩尻の小学校(810)	2 相次ぐ分離
3 小学校の現況(811)	校の建設(811)
第二章 勤労青少年教育……………	八三三
第一節 実業補習学校……………	八三三
一 実業補習学校以前の補習教育……………	八三三
1 裁縫専修科(812)	2 高等小学校補習科(812)
3 青年夜学会(813)	実業補習学校……………
二 実業補習学校……………	八三三
1 実業補習学校の開設(813)	2 実業補習学校の
内容と変遷(814)	……………
第二節 青年訓練所……………	八五五
一 青年訓練所の設置……………	八五五
二 青年訓練所の教育……………	八五五
第三節 青年学校……………	八六六
一 青年学校の設置……………	八六六
二 青年学校の教育……………	八六六
第三章 中学校教育……………	八六八
第一節 新制中学校の創設……………	八六八
一 発足時の塩尻の中学校……………	八六八
二 独立校舎の建設と組合立中学校の設置……………	八六八
一 独立校舎への移転と新設(818)	2 組合立中学
校の設置(819)	……………
第二節 市制施行後の中学校……………	八三三
一 塩尻市発足と中学校……………	八三三
1 市への移管と洗馬・宗賀中学校の統合(821)	2
市制施行当初の施設の概況(823)	……………
二 生徒数の局所的増加と新設分離校の建設……………	八三三
三 現在の中学校……………	八三三
第四章 高等学校・大学教育等……………	八五五
第一節 塩尻高等学校……………	八五五
一 沿革の概要……………	八五五
1 創始期の郡立農学校(825)	2 県立農学校か
ら新制高等学校へ(826)	3 塩尻実科高等女学校の
創設と変遷(827)	4 学校統合とその後(828)
二 現 況……………	八六六
第二節 信州工業高等学校……………	八六六
一 沿革の概要……………	八六六
二 現 況……………	八六六
第三節 田川高等学校……………	八八〇
一 沿革の概要……………	八八〇
二 現 況……………	八八〇
第四節 松本歯科大学……………	八八〇
一 沿革の概要……………	八八〇
二 現 況……………	八八〇

第五節 各種学校・専修学校……………三八三

第五章 就学前教育……………三八三

第一節 保育所……………三八三

一 塩尻における戦前・戦中の保育所……………三八三

二 戦後創草期の保育所……………三八三

三 現在の保育所……………三八三

第二節 幼稚園……………三八三

一 塩尻めぐみ幼稚園の沿革と概要……………三八三

二 塩尻幼稚園……………三八三

三 よしだ幼稚園……………三八三

第六章 社会教育……………三八三

第一節 近代の社会教育……………三八三

一 明治期……………三八三

1 維新期の神官・僧侶 (838) 2 新聞・博覧会などによる啓蒙 (838) 3 青年会の成立と活動 (839)

4 婦人団体およびその他の通俗教育団体 (840) 5 通俗談話会および教育幻灯会 (841)

二 大正・昭和初期……………三八三

1 青年団・婦人団体の動き (841) 2 少年会……………三八三

3 今井久雄の社会教育活動 (842)

三 戦時体制下……………三八三

1 社会教化活動の強化 (843) 2 社会教育団体の……………三八三

統合と活動内容 (844)

第二節 現代の社会教育……………三八五

一 終戦直後の社会教育活動……………三八五

1 国や県の方針 (845) 2 塩尻地域の取り組み……………三八五

(1) 町村主催の社会教育講座 (2) 公民館の設置 (3) 地域住民の自主的学習活動……………三八五

二 社会教育法施行後の社会教育……………三八五

1 市発足前の公民館活動 (846) (1) 公民館設置状況……………三八五

(2) 公民館の活動 (3) 筑摩地村公民館の活動 2 塩尻市発足後の公民館活動 (848) (1) 昭和三〇年代の活動 (2) 昭和四〇年代の活動 (3) 五〇年代以後の活動……………三八五

三 社会教育関係施設……………三八五

1 図書館 (852) (1) 終戦直後の図書館 (2) 公民館……………三八五

発足と図書館 (3) 塩尻市発足後の図書館 2 平出……………三八五

遺跡考古博物館 (853) (1) 博物館の沿革 (2) 施設の……………三八五

概要 (3) 展示内容 (4) 博物館活動 3 市民会館……………三八五

(854) 4 総合文化センター (855) 5 公民館……………三八五

四 社会教育関係諸団体……………三八五

1 青年団 (855) (1) 終戦直後の青年団 (2) 塩尻市……………三八五

発足までの青年団 (3) 塩尻市発足後の青年団 2……………三八五

婦人会 (856) (1) 終戦直後の婦人会 (2) 塩尻市発足……………三八五

までの婦人会 (3) 塩尻市発足後の婦人会 3 婦人……………三八五

団体連絡会 (857) 4 老人クラブ (858) 5 青……………三八五

少年健全育成会 (858) 6 文化団体 (859)……………三八五

参考・引用文献……………三八五

……………三八五

……………三八五

次
第六編 文 化

目
第一章 文 芸……………六八六

第一節 伝統を継承する文芸……………六八七

一 地方文人たちの美意識……………六八七

二 塩尻をめぐる歌人たち……………六八七

1 太田貞一(水穂)(873) (1)苦学時代から文学へ

(2)窪田空穂らとの親交 (3)古典の研究 2 女性歌

人(878) (1)若山喜志子と牧水 (2)湖みどりのモダ

ニズム (3)四賀光子と水穂 (4)中原静子の回想

3 島木赤彦(884) (1)広丘小学校時代 (2)回想の

桔梗ヶ原

第二節 近代文学の開花……………六八七

一 赤羽巖穴……………六八七

1 前衛的な活動(887) 2 母の死と帰省(888)

3 『農民の福音』(889)

二 米窪太刀雄……………六八七

1 『海のロマンス』(890) 2 文学から労働運動へ

(891)

三 吉江喬松(孤雁)……………六八七

1 故郷の自然賛美(892) 2 農民文学と海洋文学

(894) 3 学者・詩人として(895)

四 小穴隆一……………六八七

1 幼少時代の洗馬宿(896) 2 芥川龍之介との関

係(897) 3 身体障害をのりこえて(898)

五 白樺派と『地上』……………六八九

1 音楽と美術(899) 2 表現の多様性(900)

第三節 塩尻市に関係する文芸……………六八九

一 桔梗ヶ原周辺を描く作品……………六八九

1 桔梗ヶ原の風景(902) 2 記録文学(904)

二 疎開時の文学者……………六八九

第四節 文化活動の概況と現状……………六八九

一 土着文化を継承した人々……………六八九

1 短歌(907) 2 俳句(908) 3 詩(909)

4 散文(910)

二 文芸活動の現状……………六九〇

三 市内居住者の文芸図書……………六九二

第二章 学問・芸術……………六九三

第一節 学 問……………六九三

一 人文科学……………六九三

1 漢学(913) 2 国学(913) 3 史学(914)

4 考古学(915) 5 民俗学(915) 6 法学

(915)

二 医 学……………六九五

1 近代医学(915) 2 医科・歯科系大学(917)

三 農学・遺伝学・育種学……………六九七

1 塩尻市内の農林・畜産関係試験場(917) (1)長野

県中信農業試験場 (2)長野県畜産試験場 (3)長野県

林業総合センター

四 物 理 学……………六九八

五 博物学	九八	3 各種大会の成績 (934)	4 塩尻市体育施設
第二節 芸術	九九	(934)	
一 絵画・彫刻	九九	参考・引用文献	九三六
二 書道	一〇〇		
三 音楽	一〇三		
四 陶芸	一〇三		
第三章 体育	一〇四	第七編 宗 教	
第一節 学校体育	一〇四	第一章 神道と神社	一〇四三
一 小学校	一〇四	第一節 明治維新と神仏混淆の禁止	一〇四三
1 明治期 (924)	(1) 連合運動会 (2) 野球・庭球大会	一 神仏分離令と塩尻	一〇四三
2 大正・昭和前期 (925)	(1) 野球大会 (2)	1 神仏分離令 (943)	1 神仏分離 (943)
庭球大会		(1) 小野神社	(2) 健國神社ほか
二 中学校	一〇五	二 神葬祭の奨励	一〇四五
1 総合体育大会 (925)	2 郡陸上競技会 (926)	1 小野の神葬祭改典 (945)	2 松本藩の神葬祭改典 (946)
二 高等学校	一〇七	第二節 国家神道としての神社の整備	一〇四七
1 中等学校のころ (927)	2 高等学校になつて	一 神社制度の整備	一〇四七
(928)		1 当初の社格指定 (947)	2 神官の任命 (949)
第二節 社会体育	一〇八	3 氏子調べ (949)	4 神社明細帳 (950)
一 明治・大正期	一〇八	社格の昇格 (951)	(1) 小野神社 (2) 阿禮神社
1 明治期 (930)	2 大正期 (930)	二 神社神道の国教化	一〇四九
二 昭和期の塩尻市発足まで	一〇九	1 神饌幣帛料供進指定神社 (952)	2 神社の合併
1 昭和二〇年までの体育 (930)	2 終戦直後の体育 (931)	3 国教化と戦争 (955)	
3 公民館発足後の体育 (931)		第三節 新憲法と神社	一〇五
三 塩尻市発足後の体育	一一〇	一 国家と神道分離	一〇五
1 市全体の体育 (932)	2 地区の体育 (933)	二 新憲法下の神社	一〇六

第四節 神社一覽

一 塩尻地区……………九五六

阿禮神社 八幡神社 三嶋山神社 三嶽神社 健國神社

社 大門神社 東明神社 上西條神社 中西條神社

熊野神社 秋葉社 浅間社 秋葉神社

二 片丘地区……………九六三

諏訪社(中挟) 諏訪社(南熊井) 諏訪社(北熊

井) 大宮八幡社 大神社 八幡宮(クネノ内) 八

幡社(八幡原)

三 広丘地区……………九六三

諏訪社・稲荷社合殿 三社 高日出社 二柱神社 建

部社 山神社津島社

四 洗馬地区……………九六五

槻井泉神社 熊野社 諏訪神社 三社神社 小曾部神

社 白山神社 梨ノ木神社

五 宗賀地区……………九六六

伊夜彦社 床尾神社 神明宮上下二座 瀧社 八幡宮

熊野社 池ノ社 比岳當佐神社 桔梗ヶ原神社

六 北小野地区……………九六六

小野神社 東照宮

第五節 主な祭事……………九六三

一 例 祭……………九六五

1 期日(970) 2 催し物(970) 3 特色ある

祭事・催し物(970) (1)阿禮祭り (2)御神馬行列

(3)大宮八幡祭り (4)神明宮の獅子舞 (5)二柱神社祭

り

二 一年間の祭事……………九七三

1 一般的な祭事(972) (1)元旦祭・新年祭 (2)折

念祭 (3)大祓祭 (4)風祭 (5)新嘗祭 2 特殊

な祭事(973) (1)鳴雷火祭り (2)御射山祭り

三 御柱祭……………九七三

1 小野御柱祭の古例(973) (1)御柱祭の起りと古例

(2)江戸期の御柱祭 2 現在の御柱祭(974) (1)御

柱の選定・根切り・綱捲り (2)山出し祭と御遷宮祭

(3)里曳き・建御柱祭

第二章 仏教と寺院……………九七五

第一節 廃仏毀釈と仏教……………九七五

一 塩尻地域の廃仏毀釈……………九七五

1 松本藩領の広丘地区(975) 2 田幕府領松本藩

預所の地区(976) (1)塩尻地区 (2)宗賀地区 (3)

北小野地区 3 高島・高遠藩領の地区(978)

二 廃寺の復興……………九七六

第二節 時代の推移と寺院……………九七六

一 明治以降の仏教と寺院……………九七六

(1)寺院明細帳 (2)上知下戻 (3)仏教的行事と活動

(4)戦時中の寺院

二 新憲法下の寺院……………九八〇

三 主な仏教行事……………九八一

1 主な年中行事(982) (1)修正会 (2)高祖降誕会

(3)涅槃会 (4)春彼岸会 (5)釈尊降誕会 (6)開山忌

(7)大般若会 (8)大施餓鬼会 (9)お盆 (10)秋彼岸会

第八編 まちづくり

第一章 ふるさとづくりの特色	100元
第一節 ふるさとづくりの背景と理念	100元
第二節 ふるさとづくりの経過	101元
一 運動体制整備段階	101元
二 集落計画策定段階	101元
三 ふるさとづくり実践段階	101元
第二章 ふるさとづくりの成果	101元
第二節 市民文化としての結実	101元
第一節 地域社会でのふるさとづくり実践成果	101元
一 自己形成・自己管理生活に係わる共同活動事例	101元
1 健康の増進管理に努める(101)	101元
2 学習し修養する(101)	101元
3 遊び楽しむ(101)	101元
二 社会生活に係わる共同活動事例	101元
1 繁りの輪を広げる(101)	101元
2 社会的役割を担う(101)	101元
3 防犯に努める(101)	101元
第二節 居住生活に係わる共同活動事例	101元
1 災害や火災を防ぐ(101)	101元
2 環境の衛生美化を保つ(101)	101元
3 安全で利便な交通を確保する(101)	101元
4 空間の表象秩序(場の印象と意味)を整え守る(101)	101元
四 経済生活に係わる共同活動事例	101元

1 生産活動に取り組む(101)	2 消費活動を適正に保つ(101)
------------------	-------------------

五 文化継承生活に係わる共同活動事例

1 無形文化財の保全継承(101)	2 有形文化財の保全継承(101)	3 地域の歴史の継承(101)
-------------------	-------------------	-----------------

六 所帯生活運営に係わる共同活動事例

1 暮らしを営む(101)	2 子供を育む(102)
---------------	--------------

七 地域社会の運営(自治)に係わる共同活動事例

1 地域体制の運営(101)	2 自治活動の運営(102)
----------------	----------------

第三節 年度別実践成果

一 活動機能による共同活動の区分	101元
1 生活共同活動の種別(102)	101元
2 資源運用共同活動の種別(102)	101元

二 活動主体の実践形態による共同活動の区分

昭和五十六年度～平成元年度	101元
---------------	------

参考・引用文献

塩尻市誌編纂関係者名簿	101元
-------------	------

あとがき

あとがき

写真・図・表 目次

口絵 1	塩尻市役所	口絵 7	田広丘村役場	写真 1・5	明治一〇年三月の「地券」	三
2	姉妹都市提携盟約書	8	大正時代の東筑摩郡役所	1・6	印刷された自由民権結社英匡社の社員章	四
空からみた塩尻市		9	一町四か村合併調印式			
3	塩尻大門地区(丁R塩尻駅付近)	10	第一回塩尻市議会	1・7	小沢豊三郎	四
4	塩尻東地区(塩尻インター付近)	11	塩尻市・洗馬村合併調印式	1・8	馬場興平	五
5	片丘地区(北部)	12	塩尻市発足当時の旧五か町村長・県議	1・9	平林冲	五
6	片丘地区(南部)	13	行政区域界変更申請書調印式	1・10	原篤蔵	五
7	広丘地区(北部)	14	投票所風景	1・11	志村巖	五
8	広丘地区(南部)	15	現在のJ R塩尻駅	1・12	小野勇	五
9	洗馬地区(北部)	16	県営松本空港	1・13	川上源一	六
10	洗馬地区(小曾部)	17	長野自動車道塩尻インターチェンジ	1・14	荻上兵五郎	六
11	宗賀地区(北部)	18	長野自動車道塩尻北インターチェンジ	1・15	熊谷多津治	六
12	宗賀地区(南部)	19	小野駅	1・16	原隆也	六
13	北小野地区(手前は辰野町小野)	20	洗馬駅	1・17	堀内千万蔵と塩尻村役場	六
14	北小野地区(勝茲)	21	みどり湖駅	1・18	片丘村役場	六
15	塩尻農業振興地域土地利用計画図	22	日出塩駅	1・19	広丘村役場	六
		23	塩尻駅	1・20	洗馬村役場	六
		24	広丘駅	1・21	宗賀村役場	六
				1・22	筑摩地村役場	六
				1・23	横山守善	六
				1・24	小野郡吾と頌徳碑	六
口絵 1	東山道鎮撫総督の布告	写真 1・1	戊辰戦争に参加した日出塩の市			
2	尾州取締役所高札		岡官之丞			
3	明治二年七月伊那県塩尻局発行の銭札表	1・2	新政府の農商布告二枚			
4	明治二年七月伊那県塩尻局発行の銭札(裏)	1・3	新政府の高札			
5	改正地引帳	1・4	筑摩県日誌			
6	地券					

写真1・28 熊谷村司

1・29 小野祐之

1・30 昭和一四年県会議員選挙の啓発
ポスター

1・31 昭和三二年四月公選の初代町村
長

1・32 塩尻市の誕生

1・33 初・二代小松多喜雄市長

1・34 塩尻市役所旧庁舎

1・35 昭和三四年発足時の市議会風景

1・36 三代高砂政部長の答弁

1・37 四・五代花村政温市長

1・38 六・七・八代小野光洪市長

1・39 平成三年度の議会風景と三沢光
広市長の答弁

1・40 ミシヤワカ市との姉妹都市宣言
書と市章

1・41 松塩筑老人福祉施設桔梗荘

1・42 塩尻・朝日衛生施設組合、環境
センター

1・43 衆議院議員選挙開票風景

1・44 長野県中信農業試験場

1・45 松本空港

図1・1 聖付人足の鑑札・幟

1・2 塩尻村の歳出決算科目別比率の推
移

図1・3 塩尻村の歳入決算科目別比率の推

移

1・4 洗馬村の歳入予算科目別比率の推

移

1・5 洗馬村の歳出予算科目別比率の推

移

1・6 東筑摩郡の歳入決算科目別比率の

推移

1・7 東筑摩郡の歳出決算科目別比率の

推移

1・8 明治三七年度洗馬村の歳入決算

1・9 明治三七年度洗馬村の歳出決算

1・10 片丘村の歳入決算科目別比率の推

移

1・11 片丘村の歳出決算科目別比率の推

移

1・12 東筑摩郡の歳入予算科目別比率の

推移

1・13 東筑摩郡の歳出予算科目別比率の

推移

1・14 塩尻村役場の平面図

1・15 片丘村の歳出決算科目別比率の推

移

1・16 片丘村の歳入決算科目別比率の推

移

1・17 宗賀村の歳出決算科目別比率の推

図1・18 宗賀村の歳入決算科目別比率の推

移

1・19 東筑摩郡の歳入予算科目別比率の

推移

1・20 東筑摩郡の歳出予算科目別比率の

推移

1・21 大正二二年県会議員選挙の新聞広

告

1・22 塩尻町制施行を報道する新聞記事

1・23 広丘村の歳入決算科目別比率の推

移

1・24 広丘村の一戸当り生産額と所得額

の推移

1・25 広丘村の一戸当り税負担額と滞納

額の推移

1・26 広丘村の農業所得の内訳の推移

1・27 広丘村の歳出決算科目別比率の推

移

1・28 塩尻町の歳入決算科目別比率の推

移

1・29 塩尻町の歳出決算科目別比率の推

移

1・30 宗賀村の歳入決算科目別比率の推

移

1・31 宗賀村の歳出決算科目別比率の推

移

1・32 昭和一七年五月洗馬村会議員候補

表1・1 明治三年正月 堀之内村農民の全

者の地区推薦状
昭和六年県会議員選挙の洗馬村投
票所入場券

1・33 昭和六年県会議員選挙の洗馬村投
票所入場券 二五

1・34 塩尻地域の衆議院議員総選挙の政
党別得票率の推移 二四

1・35 塩尻町・洗馬村の政党別得票率の
推移 二五

1・36 塩尻町の歳入・歳出決算科目別比
率の推移 二六

1・37 片丘村の歳入・歳出決算科目別比
率の推移 二七

1・38 洗馬村の歳入決算科目別比率の推
移 二七

1・39 洗馬村の歳出決算科目別比率の推
移 二七

1・40 宗賀村の歳入・歳出決算科目別比
率の推移 二七

1・41 筑摩地村の歳入・歳出決算科目別
比率の推移 二七

1・42 昭和三年 塩尻市役所組織図 二八

1・43 昭和四年 塩尻市役所組織図 二八

1・44 昭和七年四月市役所組織図 二八

1・45 平成三年四月市役所組織図 二八

1・46 塩尻市の歳入 二八

1・47 塩尻市の歳出 二八

表1・19 明治一四年四月洗馬村戸長役場筆

生一覽

1・20 明治三年塩尻村の村会議員 四

1・21 明治期の各村二役 四

1・22 町村制施行時の各村役場位置 四

1・23 明治二四年広丘村吉田区の歳入出
予算 四

1・24 明治二二年四月洗馬村の村会議員 五

1・25 塩尻市域選出の東筑摩郡会議員 五

1・26 明治二三年七月長野県第四区選出
の衆議院議員 五

1・27 日清戦争期における塩尻村政の概
要 五

1・28 明治二二年片丘村・筑摩地村の村
会議員 五

1・29 明治三四年四月片丘村会議員定期
改選の結果 五

1・30 日露戦争への片丘村の動員 五

1・31 日露戦争期以後の行政事務の成績 五

1・32 塩尻市域選出の東筑摩郡会議員 五

1・33 東筑摩郡選出の県会議員 五

1・34 大正期各村二役 五

1・35 大正五年九月塩尻村役場の吏員 五

1・36 行政事務の成績 五

1・37 塩尻市域の各村役場吏員の月給与
額 五

1・38 大正一〇・一四年洗馬村会議員 五

1・1 明治三年正月 堀之内村農民の全
国通用銭札持ち高 二五

1・2 明治七年田・畑・宅地・林・山・
原野反別 三

1・3 明治八・一一年田・畑・宅地・林
・山・原野反別 三

1・4 明治七年・八年の貢租・租税金比
較 三

1・5 塩尻市域村々の行政区画の変遷 三

1・6 明治九年八月 村吏人名一覽 三

1・7 第五大区一小区広丘村の明治八年
一月〜三月村費 三

1・8 村の分離 三

1・9 戸長名簿 三

1・10 明治二三年一月〜六月 広丘村戸
長役場経費動定 三

1・11 明治一七年原新田村費内訳・取立 三

1・12 連合戸長役場の戸長氏名 三

1・13 塩尻町村ほか一〇か村各村明治一
七年村費 三

1・14 明治一八年度塩尻町村ほか一〇か
村村費支出予算 三

1・15 明治一八年度洗馬村歳出予算 三

1・16 明治一八年度洗馬村歳入予算 三

1・17 塩尻町村ほか一〇か村連合村会議
員 三

1・18 南第五大区経費 三

表1・39	筑摩地村救済会への寄付	一〇三
1・40	塩尻市域の村税滞納状況	一〇七
1・41	塩尻市域の部落有林野統一状況	一〇六
1・42	宗賀村の部落有財産	一〇九
1・43	宗賀村の部落有林野の統一計画	一〇九
1・44	宗賀村の部落有財産の統一結果	一〇〇
1・45	塩尻市域の部落有林野の統一と入 会権解消の状況	一一三
1・46	塩尻市域から選出された東筑摩郡 会議員	一一三
1・47	大正九年四月東筑摩郡道	一一四
1・48	東筑摩郡から選出された県会議員	一一〇
1・49	大正四年塩尻市域の県会議員選挙 の得票	一一〇
1・50	大正後期の県会議員選挙の得票	一一三
1・51	大正期の衆議院議員	一一三
1・52	昭和二年塩尻市域の県会議員選挙 の得票	一一五
1・53	昭和三年衆議院議員選挙の塩尻市 域の得票	一一五
1・54	塩尻市域の小作人組合	一一六
1・55	昭和戦前期の各町村二役	一一〇
1・56	広丘村のおもな起債	一一三
1・57	片丘村会の開設状況	一一四
1・58	片丘村の収贖高	一一六
1・59	筑摩地村の村税滞納状況	一一七
1・60	洗馬村の中流農家の一か年の収入	一一四

表1・61	洗馬村の中流農家の一か年の支出	一一四
1・62	塩尻町の独立税	一一四
1・63	昭和一六年二月宗賀村役場吏員 と事務分担	一一五
1・64	昭和一七年五月片丘村の村会議員	一一五
1・65	昭和一七年五月洗馬村の村会議員	一一五
1・66	昭和一四年東筑摩郡の県会議員選 挙の得票	一一五
1・67	東筑摩郡選出の県会議員	一一六
1・68	昭和一七年塩尻市域の衆議院議員 選挙の得票	一一六
1・69	塩尻町会の議案	一一三
1・70	宗賀村役場の文書取扱件数	一一四
1・71	塩尻町の町長選挙結果	一一六
1・72	片丘村・広丘村・洗馬村・宗賀村 ・筑摩地村村長選挙の結果	一一六
1・73	町村議会の議長・副議長	一一六
1・74	昭和二〇年宗賀村役場の職務分担	一一六
1・75	昭和二五年宗賀村役場の職務分担	一一六
1・76	昭和三年宗賀村役場の職務分担	一一六
1・77	第二回衆議院議員当選者の得票 数	一一五
1・78	宗賀村有権者数の変化	一一六
1・79	町村別の有権者数	一一六
1・80	各町村の第一回農地委員会名簿	一一七
1・81	衆議院議員選挙の町村別得票数	一一六
1・82	参議院議員選挙の町村別得票数	一一六

表1・83	昭和二年四月五日県知事選挙結 果	一一三
1・84	昭和二六年四月三〇日県知事選挙 の結果	一一三
1・85	昭和二六年四月三〇日県議会議員 当選者	一一三
1・86	町村別の合併前後見込予算比較・ 歳入	一一五
1・87	町村別の合併前後見込予算比較・ 歳出	一一六
1・88	新塩尻市の人口・有権者数	一一六
1・89	昭和三四年四月第一回塩尻市議会議 員選挙の結果	一一四
1・90	塩尻市長選挙結果	一一五
1・91	塩尻市議会議派	一一六
1・92	塩尻市議会特別委員会の一覧	一一九
1・93	塩尻市二役一覧	一一〇
1・94	昭和四七年度策定 塩尻市基本構 想の基本的施策	一一九
1・95	昭和四六年一五〇年塩尻市実施五 か年計画	一一〇
1・96	衆議院議員選挙の結果	一一二
1・97	参議院議員選挙の結果	一一三
1・98	県知事選挙の結果	一一五
1・99	県議会議員塩尻市選挙区の結果	一一六

第二編 社会・生活

口絵1	明治天皇南 ^{ちゆう} 海 ^{かい} 薄 ^{はく} 原 ^{げん} 新 ^{しん} 田 ^た 平 ^{へい} 林 ^{りん} 家 ^け へ着 ^{ちやく} 御 ^ご の ^ゆ 図	24	昭和二八年保育園開設	写真2・21	学んだ満みどりたち	三〇
2	南第五大区区长や学区取締として活躍した堀内長十郎	25	昭和三〇年代まで続いた買出し	2・22	天製糸場青木房治郎方にあった最初の電話機	三〇
3	学校設立や地租改正に尽力した青木禎一郎	写真2・1	慶応三年一〇月の高札	2・23	塩尻遊廓	三〇
4	塩尻市名誉市民 大野田正雄	2・2	戸籍区区长堀内長十郎と一家の人々	2・24	大正三年に新築された塩尻郵便局	三五
5	率先断髪した堀内長十郎のまげ	2・3	西南戦争に参加した小松八百藏の墓	2・25	大正八年に建てられた塩尻警察署	三三
6	明治三五年二月に新設された塩尻駅	2・4	引戸駕籠	2・26	建設中の広丘駅	三七
7	篠ノ井線を走った初期の機関車	2・5	信飛新聞	2・27	⑤が小荷物の集配をはじめた塩尻駅	三八
8	明治三七年三月大門郵便受取所開設	2・6	明治一〇年代の暦	2・28	省営バスの塩尻・諏訪間営業開始の時	三九
9	郷原の祭典	2・7	明治初期のハガキ	2・29	洗馬罹災地対策委員会の「罹災地ニュース」	四〇
10	大門に東座が開場	2・8	明治期の琵琶橋	2・30	昭和七年 全国農民組合宗賀支部準備会の宣伝ヒラ(伝單)	四一
11	共栄社を訪れた婦人問題研究所の一行	2・9	明治天皇広丘御小休所の碑	2・31	町営水道敷設のさいの塩尻駅前	四二
12	昭和四年一月五日各村消防組代表御親聞記念	2・10	青木禎一郎と履歴書の一部	2・32	上西条消防組第四部の人々とカソリンボンブ	四三
13	松本歩兵五十聯隊の出勤	2・11	松本農事協会会員記票	2・33	ソリンボンブ	四四
14	武運長久祈願	2・12	邂逅の清水	2・34	筑摩地村の託児所的な色彩が濃かった保育所	四五
15	昭和一三年筑摩地村満蒙開拓義勇隊員歎送	2・13	開業時の塩尻駅	2・35	摩農学校の生徒たち	四六
16	無言の凱旋をされた英霊の村葬	2・14	鉄道工事記念碑	2・36		
17	長野県立桔梗ヶ原女子拓務訓練所と第一期生福岡みつめさん	2・15	日露戦争の片丘村戦死者	2・37		
18	高出の農家	2・16	筑摩地村上田区の唧筒	2・38		
19	昭和七年四月六日全焼した宗賀村旧洗馬宿	2・17	牛伏川の砂防工事	2・39		
20	昭和二年一〇月一四日昭和天皇奉迎	2・18	山田貞充・たけ夫妻	2・40		
21	結婚式も自宅で	2・19	古い祭りの面影を伝える郷原の祭り	2・41		
22	昭和三年四月農事有線放送開始	2・20	大正初年に松本女子職業学校に	2・42		

写真2・36 武運長久を北熊井諏訪神社で祈

る人びと

三六

写真2・60 塩尻警察署

2・61 塩尻市社会福祉センター

四九

表2・5 徴兵免役者数

三三

2・37 昭和二年新築の塩尻警察署

四〇

2・62 塩尻市障害者福祉センター

四〇

2・6 郷原の一般住宅の建物坪数

三九

2・38 昭和七年四月六日の洗馬大火

三五

2・63 塩尻市老人福祉センター

四〇

2・7 明治一二年、各村の車輛数

四三

2・39 昭和一九年の衣料切符

三六

2・64 吉田児童クラブ

四〇

2・8 明治一二年塩尻市域の主な橋梁

四三

2・40 長野県桔梗原女子拓務訓練所
と入所生の作業姿

三五

2・65 塩尻駅西口ぶどう並木

四〇

2・9 営業税・雑種税など賦課等級
七道開削事業の実施状況

四九

2・41 塩尻町官住宅の棟原寮にて

三六

図2・1 明治一七年本籍人口による洗馬村
の性別・年齢別構成

三三

2・10 筑摩県病院設立各町村別負担金

三五

2・42 県下初の広報自転車

三六

2・2 信濃国郵便線絵図の一部

二四

2・11 塩尻市域の戸数と人口の変動

二七

2・43 鷹芥処理場

四三

2・3 明治一九一三年の内務省砂防工
事略図

二九

2・12 塩尻市域の戸数と人口の変動

二七

2・44 筑南伝染病院

四四

2・4 塩尻市域各村の人口の変化

二七

2・13 明治三六年洗馬村職業調

二七

2・45 塩尻市民会館

四四

2・5 関西遊覧旅行予定行路

二七

2・14 広丘村の営業税・雑種税等賦課
等級

二七

2・46 新塩尻市消防署

四四

2・6 塩尻市の警備費の推移

二五

2・15 筑摩地村の営業税・雑種税等賦課
等級

二七

2・47 塩尻市立体育館

四五

2・7 塩尻市性別・年齢別人口構成図

四〇

2・16 中央東線・篠ノ井線発着時刻表

二五

2・48 塩尻総合文化センター

四七

2・8 中心市街地活性化計画概要図

四六

2・17 各駅発着貨物量・乗降客数

二五

2・49 ヘルズバ塩尻

四七

2・9 刑法犯少年の推移

四七

2・18 塩尻停車場構内の販売物品と代価

二七

2・50 塩尻市浄化センター

四七

2・10 六五歳以上の人口、高齢化率の推
移

四七

2・19 塩尻から乗り合い馬車の運行状況

二七

2・51 塩尻・朝日衛生施設組合クリー
ンセンター

四三

2・11 塩尻市域の戸数と人口の変動

三六

2・20 東筑摩郡の諸車数

二九

2・52 塩尻市衛生センター

四三

2・12 東筑摩郡の小作地率

四二

2・21 東筑摩郡自小作人数割合

四二

2・53 塩尻市畜場

四三

2・13 各村の自作・小作農家数

四二

2・22 堀内家小作人・小作権一覽

四三

2・54 塩尻市東山霊園

四三

2・14 宗賀村の果税戸別割賦課等級

四四

2・23 筑摩地村の果税戸別割賦課等級

四四

2・55 塩尻市放送センター

四四

2・15 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四六

2・24 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四六

2・56 塩尻郵便局

四七

2・16 明治六年戸籍区別の出生数・死亡
数

三三

2・25 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四六

2・57 N T T塩尻営業所

四七

2・17 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四六

2・26 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四六

2・58 塩尻日報創刊号

四六

2・18 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四三

2・27 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四三

2・59 和解を報じる新聞記事

四三

2・19 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四三

2・28 日清・日露戦争の戦死・戦病死者
数

四三

表2・28	宗賀村吏員への治療・弔祭・遺族扶助料	二五	表2・50	洗馬村の出生・死亡数の変化	三〇	表2・70	塩尻町区戸数・人口の変動	三二
2・29	明治期後半の塩尻市域のおもな災害	二五三	2・51	塩尻町区各隣組の戸数・人数の變化	三一	2・71	塩尻市域の戸数と人口の変動	三五
2・30	明治二八年塩尻村の警備費の使途	二五五	2・52	町村別商販販売価額と一戸あたり商販価額	三三	2・72	産業別従業員数の変化	三六
2・31	消防組の設置	二五五	2・53	筑摩地村の村税滞納人数(一)	三三	2・73	農地改革による自作・小作農家数の変化	三六
2・32	洗馬村の青年会	二五九	2・54	筑摩地村の村税滞納人数(二)	三三	2・74	農地改革による買収・売渡し面積	三六
2・33	明治二四年の郵便局	三〇三	2・55	筑摩地村の歳入・村税と同戸数割決算	三三	2・75	開拓戸数と取得面積	三六
2・34	塩尻市域の戸数と人口の変動	三〇五	2・56	洗馬村の村税各年度滞納額一覽	三五	2・76	塩尻市域各駅の乗降客数	三六
2・35	大正期の出生・死亡数の変化	三〇五	2・57	塩尻駅関連諸施設と職員数	三五	2・77	塩尻市域各駅発着合計貨物量	三六
2・36	営業税・雑種税納入人数	三〇七	2・58	広丘駅開業時の時刻表	三六	2・78	塩尻郵便局の郵便物取扱ひ件数の推移	三六
2・37	塩尻村地域別の国税地租・村税の納税者数	三〇八	2・59	塩尻市域五駅の年間利用客数・荷物発着量(一)	三六	2・79	塩尻市域の地区別・局別電話加入者数	三六
2・38	塩尻村の伝染病患者と死亡者	三〇四	2・60	駅ごとのおもな発着品目	三六	2・80	ラジオの普及状況	三七
2・39	塩尻村の地域別伝染病患者	三〇四	2・61	塩尻町車輛と牛馬統計	三六	2・81	塩尻市域の消防組織と消防力一覽	三〇
2・40	塩尻市域三駅の年間利用客数・貨物発着量(一)	三〇八	2・62	塩尻郵便局・中町郵便局の貯金・保険取り扱ひ	三五	2・82	犯罪の発生状況	三〇
2・41	大正七年各駅品目別発着貨物量	三〇九	2・63	町村翼賛壮年団の团长	三五	2・83	(A)塩尻町の伝染病発生状況 (B)広丘村の伝染病発生状況	三〇
2・42	洗馬村道一覽	三〇〇	2・64	塩尻町の伝染病患者・死亡者	三五	2・84	塩尻市域の国民健康保険の状況	三〇
2・43	塩尻・中町両郵便局の各種事務取扱件数	三〇三	2・65	塩尻町町区配給品一覽	三五	2・85	塩尻市域の医療施設と医療関係従事者一覽 (A)医療施設 (B)医療従事者	三〇
2・44	塩尻村の公課以外の負担	三〇四	2・66	戦死・戦病死者の増大	三七	2・86	民生委員と生活保護世帯数	三〇
2・45	青年団・婦人会の一覽	三〇五	2・67	満洲開拓団の団別団員数と死亡者数	三七	2・87	児童福祉推進組織の設置状況	三〇
2・46	洗馬村の青年会図書館	三〇六	2・68	満蒙開拓青少年義勇軍・義勇隊の団別数と死亡者数	三七	2・88	塩尻市域の温心寮入寮者数	三〇
2・47	塩尻市域の戸数と人口の変動	三〇九	2・69	満洲移民の送出町村別の戸口	三七	2・89	塩尻市の戸数と人口の変動	三〇
2・48	塩尻市域各町村の人口増加指数	三〇〇				2・90	塩尻市の人口動態	三〇
2・49	筑摩地村の出生・死亡数の変化	三〇三						

表2・91 産業別従業員数の変化

2・91	産業別従業員数の変化	四〇
2・92	地区別事業所・従業員数	四〇
2・93	団地別公営住宅戸数	四二
2・94	分譲宅地の造成	四二
2・95	行政区別世帯数の推移	四三
2・96	塩尻市の土地区画整理事業	四三
2・97	ヘルスバ塩尻の利用状況	四七
2・98	人口急増地区	四八
2・99	人口減少地区	四八
2・100	塩尻市の老年人口の割合	四九
2・101	塩尻市の水源施設状況	四三
2・102	環境センター処理状況の推移	四三
2・103	衛生センター処理状況の推移	四三
2・104	地区別有線放送電話加入世帯数の推移	四五
2・105	放送時間と自主番組	四五
2・106	塩尻市内郵便局一覽	四六
2・107	郵便物取扱状況の推移 (A)塩尻郵便局 (B)洗馬郵便局	四六
2・108	電話施設の推移	四七
2・109	テレビの普及状況	四六
2・110	法定伝染病罹患者数の推移	四元
2・111	特定死因別死亡者数の推移	四元
2・112	医療施設数・医療従事者数の推移	四三
2・113	塩尻市のおもな保健活動	四三
2・114	国民健康保険の被保険者数・給付額	四三

表2・115 松本電鉄塩尻営業所管内の輸送実績

2・116	塩尻市域各駅発着貨物量	四三
2・117	塩尻市域各駅の乗客数	四三
2・118	公害に関する苦情	四三
2・119	地区別・種別火災発生件数の推移	四三
2・120	原因別火災発生件数および損害額	四四
2・121	最近三〇年間のおもな風水害	四五
2・122	救急車出動件数の推移	四五
2・123	消防機械・施設・吏員・団員の推移	四六
2・124	犯罪発生件数の推移	四六
2・125	窃盗犯の所管区別・手口別発生状況	四七
2・126	ねたきり老人・一人暮らしの老人の推移	五一
2・127	シルバー人材センターの会員数と受託事業	五一
2・128	児童館一覽	四五
2・129	塩尻市老人クラブ連合会事業計画	四五
2・130	六五歳以上の人口と老人クラブ	四五
2・131	市内労働組合の推移	四七

第二編 産業経済

口絵1 蚕

2 繭の選別

3 馬と勤で田起し

口絵4 トラクターで代掻き

5	田植え
6	田植機で田植え
7	昭和三〇年代から盛んになった桔梗ヶ原のぶどう栽培
8	桔梗ヶ原でぶどう栽培と醸造を早くから始めた林五一
9	塩尻産のワイン
10	戦後間もなく西洋野菜の栽培を始めた洗馬の人たち
11	岩垂原のレタス畑
12	すすむ水田の圃場整備
13	土地改良事業の記念碑
14	塩尻インター林間工業団地の造成
15	角前工業団地
16	塩尻アルプス工業団地
17	精密機械工場
18	食品加工工場の内部
19	精密機械工場の内部
20	明治三五年ころの塩尻駅(中央 付近)
21	昭和初期の野菜出荷風景
22	昭和初期の大門商店街(日用品市場)
23	昭和初期の大門商店街
24	昭和初期仲町にあった塩尻遊郭
25	昭和初期まで大門にあった吉江銀行
26	現在の大門商店街の一部
27	現在の広丘商店街の一部

図3・6 収量高の推移

3・7	広丘村の戦後開拓	五四
3・8	洗馬村の開拓・開田	五四
3・9	塩尻市内河川と農業用溜池	五四
3・10	製造品出荷額等の業種別割合	六〇
3・11	製造品出荷額等の推移	六〇
3・12	従業者数の業種別割合	六二
3・13	従業者数の推移	六二
3・14	産業中分類別工業事業所の推移	六三
3・15	産業中分類別工業従業員の推移	六三
3・16	産業中分類別工業製造品出荷額の推移	六四
3・17	業種別長野県の構成比に対する塩尻市の構成比	六八
3・18	塩尻地方の石灰製造窯の分布	六九
3・19	新産業都市の全国および松本・諏訪地区の都市圏	七三
3・20	卸・小売業商品販売額の推移	七八
3・21	卸・小売業の商店数の推移	七九
3・22	卸・小売業・従業員数の推移	七九
3・23	平成元年塩尻商工会議所組織図	七二
表3・1	産業別就業人口	四六
3・2	産業別就業人口の推移	四六
3・3	主要産業の就業人口構成比の推移	四七
3・4	地区別世帯数・人口	四七

表3・5 地区別農業主要指標

3・6	地区別工業主要指標	四六
3・7	地区別小売業主要指標	四六
3・8	主要観光地別観光客の推移	四九
3・9	塩尻町主要農産物の生産推移	四七
3・10	宗賀村の果樹栽培面積と収量の推移	四八
3・11	塩尻町の米作の作付面積・収量・反収量	四八
3・12	塩尻市の作付面積・収量・反収量	四八
3・13	塩尻町の戸当たり農家経済の推移	四九
3・14	筑摩地村水田一反歩収支計算表	四九
3・15	筑摩地村水田一反歩収支計算表	四九
3・16	塩尻村肥料消費高	四九
3・17	塩尻村一肥料問屋販売高	四九
3・18	塩尻村肥料消費額	四九
3・19	米の品種と適応地域・育苗法	四九
3・20	塩尻市域の農業用原動機所有台数	四九
3・21	塩尻市域の米作用動力用農機具所有台数	四九
3・22	保温折衷苗代と水苗代との経済効果の比較	四九
3・23	戦前の塩尻町麦類生産の推移	五〇
3・24	戦後の塩尻町麦類生産の推移	五二
3・25	塩尻市大麦・小麦の生産の推移	五二
3・26	塩尻町の大豆・あわの生産の推移	五三

表3・27 洗馬村雑穀生産の推移

3・28	片丘村雑穀生産の推移	五四
3・29	塩尻町雑穀生産の推移	五四
3・30	塩尻市全域の雑穀生産の推移	五五
3・31	塩尻町の果樹栽培の推移	五七
3・32	塩尻市の果樹栽培の推移	五八
3・33	ふどう種類別生産の推移	五〇
3・34	加工原料用ふどう取扱実績	五〇
3・35	塩尻市のりんごの生産状況	五一
3・36	塩尻市のなしの生産状況	五二
3・37	塩尻町の戦後の野菜生産	五三
3・38	塩尻市の野菜生産の推移	五四
3・39	主要野菜の地区別・隔年度別農協取扱出荷数量と販売金額	五五
3・40	長野県下レタス栽培作付面積の都市別順位	五六
3・41	塩尻町の戦後の特用作物	五七
3・42	特用作物の推移	五七
3・43	葉たばこ生産状況	五八
3・44	塩尻市のいんげん豆の生産	五八
3・45	塩尻市域内の元治元年の生糸産出高	五九
3・46	堀之内村・塩尻町村の主な農家の桑・繭の生産	五〇
3・47	明治末期の養蚕の推移	五〇
3・48	塩尻村の大正期の養蚕状況	五三
3・49	筑摩地村の大正期の養蚕状況	五三

表3・119 塩尻地域の製糸業の工場数と釜数
の推移

表3・141 昭和四〇年代創業の機械金属工業
昭和五〇年代創業の機械金属工業
昭和六〇年〜平成元年創業機械金
属工業

表3・161 洗馬村の商業への就業状況
宗賀村の商業状況
筑摩地村の商業就業状況
塩尻市の商業概況
塩尻市商店の就業者・売場面積・
販売額

3・120 大正三年器械製糸工場

六五

3・142 昭和五〇年代創業の機械金属工業

六五

3・162 宗賀村の商業状況

六六

3・121 大正九年器械製糸工場

六六

3・143 昭和六〇年〜平成元年創業機械金
属工業

六六

3・164 塩尻市の商業概況

六六

3・122 塩尻村器械製糸工場

六七

3・144 塩尻地方の石灰生産

六七

3・165 塩尻市商店の就業者・売場面積・
販売額

六八

3・123 長野県製糸女工の平均賃金の変遷

六七

3・145 石灰石と生石灰の生産ならびに発
送状況

六八

3・166 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・124 横浜市場生糸現物相場の推移

六八

3・146 最近の地区別商店数の推移

六八

3・167 塩尻市商店の商品販売先

七〇

3・125 塩尻町製糸業の推移

六八

3・147 最近の地区別商店の従業員数の推
移

六八

3・168 塩尻市商店の商品販売先

七〇

3・126 塩尻町味噌醸造所所有製糸所の推移

六八

3・148 最近の地区別商店の年間商品販売
額の推移

六八

3・169 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・127 筑摩地村青木製糸場の推移

六八

3・149 最近の地区別商店売場面積の推移

六八

3・170 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・128 塩尻町五味正味所有五味製糸場の
推移

六八

3・150 片丘村営業願・麻業願

六八

3・171 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・129 組合製糸の経営概況

六八

3・151 塩尻町旅館川上喜十郎方宿泊者の
行先と居住地

六八

3・172 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・130 塩尻市域清酒醸造状況

六七

3・152 塩尻町旅館川上喜十郎方宿泊者の
職業

六八

3・173 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・131 大正九年ワイン醸造業農園

六八

3・153 塩尻市域の商業

六八

3・174 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・132 最近のワイン醸造の推移

六八

3・154 諸会社と銀行

六八

3・175 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・133 主なワイン工場

六八

3・155 塩尻市域の産業組合

六八

3・176 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・134 平成元年商工会議所会員数

六八

3・156 昭和初年洗馬村の諸営業

六八

3・177 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・135 昭和三二年塩尻町製材・木製品工
業の状況

六八

3・157 昭和初年洗馬村の特殊営業

六八

3・178 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・136 昭和一〇年代創業の機械金属工業

六八

3・158 昭和初年洗馬村の商業概況

六八

3・179 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・137 昭和二〇年代創業の機械金属工業

六八

3・159 塩尻町商業への就業状況

六八

3・180 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・138 昭和二六年・二七年の機械金属工
業

六八

3・160 片丘村商業状況

六八

3・181 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・139 昭和三〇年代創業の機械金属工業

六八

3・161 塩尻町商業への就業状況

六八

3・182 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

3・140 機械金属工業の全産業における地

六八

3・162 塩尻市商店の商品仕入先

六八

3・183 塩尻市商店の商品仕入先

七〇

第四編 観 光

- 17 郷原宿と緑の街道
- 16 崖の湯と山あいの池
- 15 二一世紀の森とアルプス展望道路
- 14 島崎家
- 13 小松家と常光寺
- 12 高ボツチ高原
- 11 西福寺
- 10 三嶽の森と姥ヶ池
- 9 シャクナゲとアジサイの常光寺
- 8 みどり湖とその周辺
- 7 中央スポーツ公園
- 6 大門の並木通り
- 5 堀内家
- 4 阿禮神社と夏祭り
- 3 小野家
- 2 小坂田公園とその周辺
- 1 中山道の塩尻峠

写真4・31 小坂田公園納涼花火大会

4・32 全国短歌フォーラムin塩尻

両六
両七

図4・1 観光地別利用者数の推移

4・2 観光地利用者の県内外数と観光消

費額の推移

4・3 塩尻市観光の将来予想

七六

4・4 塩尻地区観光案内図

七九

4・5 片丘地区観光案内図

七五

4・6 広丘地区観光案内図

七〇

4・7 洗馬地区観光案内図

七三

4・8 宗賀地区観光案内図

七七

4・9 北小野地区観光案内図

七二

4・10 日本アルプスサラダ街道

両八

4・11 日本アルプスサラダ街道

七五

4・12 筑摩三十三カ所観音霊場

七五

表4・1 わがまち塩尻三〇選

4・2 観光地利用者消費額の推移

七五

4・3 平出遺跡考古博物館の利用状況

七七

4・4 第4回全国短歌フォーラム集計

両七

4・5 塩尻市のイベントカレンダー

両九

第五編 教育

口絵1 脩踐社の教師河野通萬

2 塩尻市域で最初の学校(脩踐社)に使われ
た川上家薬師堂

口絵3 宗賀村洗馬学校

4 洗馬学校新築記録

口絵30 塩尻幼稚園
31 吉田幼稚園

5 宗賀村の学校世話役申付書

6 片丘北尋常高等小学校職員

7 東筑摩郡立農学校

8 塩尻東小学校

9 塩尻西小学校

10 桔梗小学校

11 片丘小学校

12 広丘小学校

13 吉田小学校

14 洗馬小学校

15 宗賀小学校

16 両小野小学校

17 塩尻中学校

18 丘中学校

19 広陵中学校

20 塩尻西部中学校

21 両小野中学校

22 塩尻高等学校

23 信州工業高等学校

24 田川高等学校

25 松本歯科大学

26 教育関係者の遺稿集

27 一番早くできた筑摩地村保育所
28 大門保育園
29 塩尻アイオナ教会めぐみ幼稚園

写真5・1 脩踐社に使用された川上氏の薬

師堂

5・2 第六小校日誌

5・3 第六小校入校生徒姓名記

5・4 河野通萬

5・5 吉江家墓地にある河野通萬の碑

5・6 堀内長十郎 学区取締任命辞令

5・7 南熊井学校の「世話役勤惰一日

表」

5・8 明治初期の下等小学免状

5・9 洗馬学校

5・10 斎藤節

5・11 松本深

5・12 赤羽王郎自画像

5・13 高津作吉

5・14 雑誌「地上」創刊号表紙

5・15 片丘青年学校の新築校舎

5・16 創立当時の組合立丘中学校

5・17 諏訪交響楽団を指揮する今井久

5・18 昭和二年に建設発足した片丘

南内田公民館

5・19 文部大臣からの表彰状

5・20 家庭教育学級

写真5・21 第一回塩尻市婦人模擬議会

図5・1 塩尻市域学校系統図

5・2 頼母学校平面図

5・3 堅石学校平面図

5・4 内田学校平面図

5・5 洗馬学校平面図

5・6 塩尻高等学校沿革系統

表5・1 筑摩県小校(郷学校)一覽

5・2 塩尻市域創立期の小学校一覽

5・3 創始期の就学状況(明7・5)

5・4 合恩後の就学率

5・5 就学状況(明9・12)

5・6 就学状況(明12・12)

5・7 在籍・出席生徒(明14)

5・8 塩尻各村就学率(明25・33)

5・9 勤勞奉仕の内容

5・10 満蒙開拓青少年義勇軍編成割当表

5・11 塩尻市域満蒙開拓青少年義勇軍送

出数

5・12 集団疎開受入れ状況

5・13 疎開学童用献立予定表

5・14 寄生虫卵保有者

5・15 中学校施設関係一覽

5・16 中学校卒業生の進路状況

5・17 農繁期保育所開設場所等

表5・18 塩尻市立保育所

5・19 塩尻市立図書館の年度別蔵書冊数

と貸出冊数

5・20 平出遺跡考古博物館入館者状況

5・21 市民会館年度別利用状況

5・22 総合文化センター年度別利用状況

5・23 市内文化・教養サークル数

第六編 文化

口絵1 文化勲章(医学)受章の熊谷岱藏博士と洗馬元町の生家

2 熊谷岱藏臨床研究記録

3 熊谷岱藏遺墨

4 フランス文学の先駆者吉江喬松(孤雁)博士と長畝の生家

5 遺伝学の泰斗田中義麿博士と著書

6 長興寺での源氏物語講演の際の折口信夫

7 柳田国男と折口信夫(釈道空)歌碑

8 塩尻歌碑公園

9 塩尻短歌館

10 太田水穂・四賀光子夫妻

11 太田水穂歌碑

12 原新田にある太田水穂の生家

13 太田水穂と島本赤彦の共著「山上湖上」

14 太田水穂のはじめた潮音社の機関誌「潮音」

15 明治四二年広丘小学校職員生徒

口絵16 赤彦在職のころの学校日誌

17 島本赤彦の歌碑

18 若山喜志子姉妹の吉田の生家

19 若山喜志子

20 若山牧水

21 潮みどりと歌集

22 郷原古統「海棠」

23 小岩井秀鳳「軍鶴」

24 佐原修一郎「蓬萊山」

25 滝川照子「樹魂」

26 田代秋鶴の書

27 古厩博人「踊り子の衣裳」

28 中村三十郎「花器」

29 上條素山の書

30 塩尻市中央スポーツ公園

31 市民プール競泳場

32 片丘小昭和九年袴姿で郡庭球大会に優勝

33 平成元年度インターハイ香川 田川高校弓道女子団体戦

34 昭和五五年全国家庭婦人バレーボール大会での広丘チーム

35 昭和六二年度全日本九人制バレーボール総合女子選手権大会での塩尻工業チーム

写真6・1 砥積吟抄

6・2 矢彦雨路

6・3 長野師範学校卒業時の太田水穂

7・16	大門神社	寫真7・43	梨ノ木神社	7・67	無量寺	7・91	天理教桔梗ヶ原分教会	7・91
7・17	東明神社	7・44	伊夜彦社	7・68	牛伏寺	7・90	天理教塩尻分教会	7・90
7・18	上西條神社	7・45	床尾神社	7・69	法船寺	7・89	萬国福音教団洗馬教会	7・89
7・19	中西條神社	7・46	神明宮上下二座	7・70	常楽寺	7・88	日本キリスト教団塩尻アイオナ教会	7・88
7・20	熊野神社	7・47	瀧社	7・71	桃昌寺	7・87	ノルマン	7・87
7・21	秋葉社	7・48	八幡宮(本山神社)	7・72	郷福寺	7・86	日本キリスト教団塩尻教会	7・86
7・22	浅間社	7・49	熊野社	7・73	光明寺	7・85	聖書研究会の手塚縫藏	7・85
7・23	秋葉神社	7・50	池ノ社	7・74	善立寺	7・84	祭林寺	7・84
7・24	諏訪社(中挟)	7・51	比岳當佐神社	7・75	真正寺	7・83	大乗寺	7・83
7・25	諏訪社(南熊井)	7・52	桔梗ヶ原神社	7・76	東漸寺	7・82	長泉院	7・82
7・26	諏訪社(北熊井)	7・53	小野神社	7・77	長興寺	7・81	萬福寺	7・81
7・27	大宮八幡社	7・54	東照宮	7・78	福聚寺	7・80	言成地蔵教会	7・80
7・28	大神社	7・55	御射山祭り	7・79	興龍寺	7・79	興龍寺	7・79
7・29	八幡宮(クネノ内)	7・56	太政官からの寺院帰農勸諭緩和方達の回覧と請印	7・80	言成地蔵教会	7・78	福聚寺	7・78
7・30	八幡社(八幡原)	7・57	小野神社境内の破損した石仏など	7・81	萬福寺	7・77	長興寺	7・77
7・31	諏訪社・稲荷社合殿	7・58	長興寺における折口信夫の講演	7・82	長興寺	7・76	東漸寺	7・76
7・32	三社	7・59	観音霊場巡り開白法要	7・83	大乗寺	7・75	真正寺	7・75
7・33	高日出社	7・60	水福寺	7・84	祭林寺	7・74	善立寺	7・74
7・34	二柱神社	7・61	常光寺(上西条)	7・85	聖書研究会の手塚縫藏	7・73	光明寺	7・73
7・35	建部社	7・62	西福寺	7・86	日本キリスト教団塩尻教会	7・72	郷福寺	7・72
7・36	山神社津島社	7・63	慈光院	7・87	ノルマン	7・71	桃昌寺	7・71
7・37	櫻井泉神社	7・64	養福院	7・88	日本キリスト教団塩尻アイオナ教会	7・70	常楽寺	7・70
7・38	熊野社	7・65	常光寺(北熊井)	7・89	萬国福音教団洗馬教会	7・69	法船寺	7・69
7・39	諏訪神社	7・66	松林寺	7・90	天理教塩尻分教会	7・68	牛伏寺	7・68
7・40	三社神社	7・67		7・91	天理教桔梗ヶ原分教会	7・67	無量寺	7・67
7・41	小曾部神社							
7・42	白山神社							

写真7・92 天理教堅石分教会 九九

7・93 天理教塩尻平分教会 一〇〇

7・94 天理教長野教務支庁 一〇一

7・95 創備学会塩尻文化会館 一〇二

7・96 日蓮正宗善興寺 一〇三

7・97 ほんふしん甘露の里・長野 一〇三

7・98 立正佼成会塩尻法座所 一〇四

期日 一〇〇

第八編 まちづくり

口絵1 ふるさとづくり研究集会

2 都市計画で出来た大門並木通り

3 親子あき缶拾い

4 路傍の花壇づくり

5 しめ縄づくり講習会

6 子供会の防犯ポスター展

7 自然観察

8 育成会のますつかみ大会

9 募善バザー

10 婦人自衛消防隊

11 剣道スポーツ少年団

12 書初め大会

写真8・1 子供も参加しての集落計画づくり

り 一〇〇

8・2 ゲートボール大会 一〇三

8・3 広丘夏祭り 一〇四

8・4 公園づくり 一〇五

8・5 防災訓練(東地区) 一〇七

8・6 花いっぱい運動 一〇八

8・7 そば打ち講習 一〇九

8・8 子供床尾ばやし 一〇〇

表7・1 神仏分離令による神社名改称状況

7・2 小野・塩尻地域の平田門人 尙五

7・3 両小野地区の全世帯数に対する祭

林寺檀家・信徒戸数の割合 尙六

7・4 塩尻地域の神社社格指定と神官任

命 尙六

7・5 塩尻地域の神社明細帳当初登録社

格別・村別神社数 尙五

7・6 神饌幣帛料の金額 尙五

7・7 塩尻地域の神社の神饌幣帛料供進

社指定 尙五

7・8 神社の合併・移転状況 尙五

7・9 塩尻市内の神道系宗教法人 尙七

7・10 市内神社の例祭と年間の祭事 尙七

7・11 塩尻市内の石仏などの破損状況 尙六

7・12 塩尻地域の寺院明細帳登録寺院 尙九

7・13 塩尻市内の仏教系宗教法人 尨二

7・14 塩尻市内の天理教分教会と布教所 尨六

7・15 教会本部と市内分教会の恒例祭の